

平成28年度県立広島大学教員免許状更新講習・講座一覧

| 講座番号 | 講習の名称 | 講習の概要 | 担当講師 | 講習の開催地 | 時間数 | 講習の期間 | 対象職種 | 主な受講対象者 | 受講人数 |
|------|------------------------------------|--|---|--------------------|-----|---------------|--------------------|-------------------------------|------|
| 1 | 【選択】英語音声についての理論と実践 | 本講座は、英語コミュニケーション活動に重要な位置を占める音声について、その基礎理論を学び、実践への応用を図ることを目的とする。児童・生徒の発音向上を目指した具体的な指導法の考察に向けて、次の項目を中心とした講義と実習を行う。 1)英語の音声体系についての概説、2)日本人学習者と英語母語話者の英語音声の特徴とその比較、3)日英語対照音声学と音声音響分析の応用による発音指導・矯正の実践、4)英語音声指導についての討議。 | 上斗 晶代(人間文化学部教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年8月10日(水) | 教諭 | 小学校教諭、及び 中学校・高等学校 英語科教諭 | 30人 |
| 2 | 【選択】英語学、英語文学及び英語教育の理論と実践 | 本講座は英語学、英語文学、英語教育方法論の基礎理論を学びながら、教育現場での実践的応用につながる知識を得ることを目的としている。三人の講師がそれぞれの専門知識をもとに、独自の視点から、英語教育の現場を意識した以下のようなテーマを掲げて講義と実習を展開する:1)言語と思考と文化の関係を論じる言語理論、2)英語教育に演劇を取り入れるためのワークショップ、3)文化と歴史を背景とした文学テキストの読解 | スティーブン・ローゼン(人間文化学部准教授) 吉本 和弘(人間文化学部教授) 高橋 渡(人間文化学部教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年7月30日(土) | 教諭 | 小学校教諭、及び 中学校・高等学校 英語科教諭 | 30人 |
| 3 | 【選択】国語科教育に活かす古典文学研究の成果(1) | 伝統的な言語文化の理解に重点を置く学習指導要領の特色を踏まえ、「日本における古典知の形成と展開」について考える。最新の研究成果を紹介しながら、『史記』『蒙求』『白氏文集』『唐詩選』などから、日本の古典知に組み入れられ、現代の「国語」のテキストにも多く採用されているいくつかの作品を味読する。あわせて、中国古典の全体像を概観し、それとの対比を通して、日本文学の独自性についても考察を試みる。 | 柳川 順子(人間文化学部教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年7月30日(土) | 教諭 | 中学校・高等学校 国語科教諭 | 30人 |
| 4 | 【選択】国語科教育に活かす古典文学研究の成果(2) | 伝統的な言語文化の理解に重点を置く学習指導要領の特色を踏まえ、「日本における古典知の形成と展開」について考える。最新の研究成果を紹介しながら、日本文学における中国文学の摂取と定着、展開の様相を、『白氏文集』に焦点をあててたどってゆく。具体的には『古今集』『竹取物語』『枕草子』『源氏物語』からいくつかの事例を取り上げ、分析することを通じて、日本文学の特徴と受け継がれる古典知について考察を試みる。 | 西本 寮子(人間文化学部教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年7月31日(日) | 教諭 | 中学校・高等学校 国語科教諭 | 30人 |
| 5 | 【選択】日本史(歴史)教育に地域史研究の成果をどう活かすか(その1) | 身近な地域の歴史や文化遺産の学習を通して歴史への関心を高めることを求めている学習指導要領に対応するため、広島県地域を対象とする最新の研究成果(戦国大名毛利氏を中心とする地域史研究)を紹介しながら、新たな知見を日本史(社会科)の授業の展開にどのように活かしていくのかを考える。 | 秋山 伸隆(人間文化学部教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年7月30日(土) | 教諭 | 中学校社会科・高 等学校地歴科教諭 | 30人 |
| 6 | 【選択】日本史(歴史)教育に地域史研究の成果をどう活かすか(その2) | 身近な地域の歴史や文化遺産の学習を通して歴史への関心を高めることを求めている学習指導要領に対応するため、広島県地域を対象とする最新の研究成果(草戸千軒町遺跡を中心とする中世の港町と物資の流通に関する研究)を紹介しながら、新たな知見を日本史(社会科)の授業の展開にどのように活かしていくのかを考える。 | 鈴木 康之(人間文化学部准教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年7月31日(日) | 教諭 | 中学校社会科・高 等学校地歴科教諭 | 30人 |
| 7 | 【選択】健やかな心身の育成指導の充実に関する講習 | 本講座は、「人体のしくみ」「体力の向上」「食育」を中心として健康的な生活習慣の形成に重点を置く学習指導要領の特色を踏まえ、健康的な生活習慣形成を考える際の基礎的理解を深めることを目的とする。健康の維持・増進に深く関わる「生体科学」「運動栄養学」「調理学」という観点から、その最新の動向・知見について講じる。 | 藤井 保(人間文化学部教授) 杉山 寿美(人間文化学部教授) 山岡 雅子(人間文化学部准教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年7月9日(土) | 教諭 養護教諭 栄養教諭 | 全教諭 養護教諭 栄養教諭 | 50人 |
| 8 | 【選択】教育現場における情報活用と情報安全 | 本講座は、近年のICT(情報通信技術)の進展に合わせ、これらの技術を教育現場において活用する方法や注意すべき事項について学ぶ。具体的には、(1)情報機器やマルチメディア技術を教育に活用する方法、(2)インターネット、PCやスマートフォンなどの情報端末の利用の際に重要となる情報セキュリティや情報倫理について、教育現場を視野に入れた基本的事項を学ぶ、といった内容である。 | 佐々木 宣介(経営情報学部准教授) 小川 仁士(経営情報学部教授) 宇野 健(経営情報学部准教授) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年7月9日(土) | 教諭 | 中学校・高等学校 教諭 | 40人 |

| 講座番号 | 講習の名称 | 講習の概要 | 担当講師 | 講習の開催地 | 時間数 | 講習の期間 | 対象職種 | 主な受講対象者 | 受講人数 |
|------|-------------------------------------|--|--|--------------------|-----|---------------|------------|--------------------------------|------|
| 9 | 【選択】英語教育改善のための理論と実践 | 本講座は、小学校外国語活動および中学校・高等学校英語科授業の改善をめざし、理論と実践のヒントを提供します。講義とワークショップを組み合わせ、自らの授業を振り返りながら、新しい授業創りへの道筋を探ります。参加者自身の英語力向上にも資するよう、具体的な教材を用いた「英語学習体験」の時間も設けます。 | 馬本 勉(生命環境学部教授) スチュワート・ロナルド(生命環境学部准教授) 片山 圭巳(生命環境学部准教授) | 庄原キャンパス (庄原市) | 6時間 | 平成28年8月9日(火) | 教諭 | 小学校教諭, 及び 中学校・高等学校 英語科教諭 | 30人 |
| 10 | 【選択】高大連携における化学・物理基礎教育と環境専門教育への展開 | 本講座は大学で実施している、基幹の物理・化学の講義内容(高校の講義から大学講義への橋渡し)の紹介とその環境専門への展開を紹介する。中学理科の教諭には環境教育の事例としての参考になる。また、高校物理や化学の教諭には大学への強化連携の意味づけの確認と環境教育の事例となる。 | 原田 浩幸(生命環境学部教授) 崎田 省吾(生命環境学部准教授) 松本 拓也(生命環境学部助教) | 広島キャンパス (広島市南区) | 6時間 | 平成28年8月8日(月) | 教諭 | 中学校理科教諭, 高等学校化学・物 理教諭 | 30人 |
| 11 | 【選択】特別支援教育講座Aー自閉症スペクトラム・ADHD等の理解と支援 | 学習障害児(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉症スペクトラム等の発達障害児に対する適切な指導が教育現場に求められている。この講座では、医師、作業療法士、言語聴覚士の資格を有する教員により、発達障害児の行動や情緒、コミュニケーション、学習上の問題を最新の医学的知見から理解し、その具体的な指導法について教授する。 | 林 優子(保健福祉学部教授) 堀江 真由美(保健福祉学部講師) 細川 淳嗣(保健福祉学部講師) 山西 葉子(保健福祉学部助教) | 三原キャンパス (三原市) | 6時間 | 平成28年8月17日(水) | 教諭 養護教諭 | 全教諭 養護教諭 | 100人 |
| 12 | 【選択】特別支援教育講座Bー知的障害・肢体不自由等の理解と支援 | 本講座では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格を有する教員が、知的障害・肢体不自由等に対する最新の医学的知識や姿勢・運動、コミュニケーション、問題行動への支援等について具体的に教授する。 | 林 優子(保健福祉学部教授) 玉井 ふみ(保健福祉学部教授) 島谷 康司(保健福祉学部准教授) 古山 千佳子(保健福祉学部准教授) | 三原キャンパス (三原市) | 6時間 | 平成28年8月18日(木) | 教諭 養護教諭 | 全教諭 養護教諭 | 50人 |